

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 30 年 2 月 21 日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校
PTA会長名	岡谷 聖美

実施概要	実施活動名	出張カフェで老人ホームの方々、地域の皆さんにサービスしよう
	実施日時	①平成 30 年 1 月 30 日②平成 30 年 1 月 31 日③平成 30 年 2 月 7 日
	実施場所	①②③ともに本校家庭科室および洛陽和ヴィラ文京春日（近隣の特別養護老人ホーム）内の地域交流室
	実施目的	学校近隣の特別養護老人ホーム内の地域交流室をお借りして、本校のキャリア学習の一環としてカフェを開き、老人ホーム利用者の皆様、地域の方々にご来店いただくことにより、地域資源を活用した「喫茶サービス」の学習支援を行う。さらに、地域の方々に、本校の児童生徒たちの学習の様子や、取り組みを通して知的障害を持つ生徒たちへの理解や啓発を図る。（共生社会の推進に向けて）
	実施内容	喫茶サービス、老人ホームの利用者の皆様、地域の方々との交流
	実施方法	大塚祭（本校学校祭）にてスターバックスコーヒージャパンの協力を得て毎年実施している、カフェでの経験を活かし、コーヒーやお茶のサービス、作業学習で製造しているクッキーなどの提供を行う。
	参加人数	・ 中学部、高等部生徒 42 名、教員 15 名 ・ 洛和ヴィラ文京春日利用者の方々、地域の方々、本校児童生徒の保護者

報告事項	内容	<p>11 月中旬に大塚祭において、スターバックスコーヒージャパンの協力を得て、学校内に「えがおカフェ」を開設、インスタントコーヒーと校内製造のクッキーのサービスを行った。菓子、飲み物を丁寧にサービス（接客業務）するための基本所作等を学んだ。</p> <p>上記の成果をもとに、上記実施日に行った。午前中、本校家庭科室において、三色のスノーボールクッキーを製造した。午後、リヤカーに資機材とともに積み込み、生徒、教員とともに、老人ホームまで運び、老人ホーム内地域交流室をカフェ風に設置した。</p> <p>老人ホーム利用者の皆さん、老人ホームでボランティア活動をしているの方々、面会等ホームへの来客者へ、コーヒー等の飲み物とスノーボールクッキーのサービスを実施した。</p>
	結果	<p>予め用意した、手作りのメニュー表、営業中、準備中などの案内板、注文を取るための小さなメモ板、そしておそろいのベストなど、街中のカフェのような雰囲気の設定をすることができた。その中で、生徒たちは、お客様への喫茶サービスであるという自覚と、適度な緊張感をもって各々の持てる力を出し切ってサービスできた。</p> <p>利用者さんが、「特別支援学校では、どんな勉強をしているの？」などと気さくに話しかけてくれ、それに対し、丁寧に應對し、温かい交流ができた。また、ボランティアさんも、「孫が特別支援学校に通っていてね」などと同じテーブルの方々に支援学校について話題にしてくださり、カフェを利用してくださった多くの人に特別支援学校を知っていただく良い機会となった。</p> <p>老人ホーム利用者さんから、「久しぶりにおいしいコーヒーを飲んだ、ありがとう」と感謝の言葉を頂き、生徒たちも更なるチャレンジへのモチベーションが上がった。</p>
	所感	<p>今回助成金を頂いたことにより、コーヒーマシーンを活用し、どの生徒も、数種類の飲み物を同じ品質で簡単にサービスすることができた。そのため、お客様と余裕をもって交流することができ、より、生徒たちのサービスの質が高まった。</p> <p>生徒たちが製造したクッキーは、大変好評で、老人ホームにボランティアに来ていた地域の方から、「クッキーに限らず、作業学習での製品をどんどん老人ホームで売ってもらいたい」との声も聞かれ、共生社会の推進への小さなステップを踏むことができたように感じた。</p> <p>今後、定期的な出張カフェを実施することにより、老人ホームの皆さんや職員の方々から、「こんなおいしいコーヒーは久しぶり」などと、楽しみにして待っていてくれるような状況につながっていければ、と感じた。加えて、地域の方々にも生徒たちへの理解が深まっていくことを希望したい。</p>

添付書類

収支決算書、領収書添付シート、参加感想（生徒）、参加感想（保護者）、写真



カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月21日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校
学年	中学部高等部全学年

- ・ きれいな部屋でカフェのサービスができて、嬉しかった。
- ・ リヤカーに荷物を積んで運ぶのが、大変だった。
- ・ 注文を取るのが上手くできるかどうか、心配だったけれど、お客様が何度も言うてくれたので、間違えずにできてよかった。
- ・ 飲み物を作るのが簡単にできて、安心だった。
- ・ クッキーやコーヒーがおいしいと言われて嬉しかった。
- ・ クッキーの作り方を聞かれて、一生懸命説明した。
- ・ お客様と沢山お話しできて、楽しかった。
- ・ 「いらっしゃいませ」や、「ごゆっくりどうぞ」が最初はうまく言えなかったけれど、慣れたら、大きな声で言えるようになってよかった。
- ・ また、カフェのサービスをやりたい。
- ・ 将来、カフェの仕事をしたい。

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月21日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校

保護者の感想

- ・ 老人ホームの地域交流室での活動と聞いて、校内での実習とあまり変わらないのかなと思っていましたが、素晴らしい施設で驚きました。テーブルセッティングや、生徒たちのおそろいのベストなども本格的で、何より、コーヒーやクッキーの味もとても美味しく、コーヒー専門店さながらの実習ができたことに、感謝しております。
- ・ お客様である、老人ホームの利用者の方々や、ボランティアスタッフの皆様の深い理解によって、生徒たちに温かく接して下さったため、生徒たちは、臆することなく、今までの学習の成果を発揮することができたと思います。
- ・ 注文をとったり、飲み物をサービスすることが、きちんとできるかどうか心配でしたが、ゆっくりでも確実に、丁寧に行えていることを見ることができて、とても安心しました。
- ・ たまたまいらしていた、施設の評議員さんなどへもサービスができ、好評をいただけて、とても良かった。
- ・ 老人ホームの中の施設である、ということで、衛生面には格段の注意が必要なことから、風邪気味の生徒は、参加できず、「健康管理も仕事のうち」ということも、しっかりと学べた。
- ・ 接客を通じ、挨拶、返事が何より大事、ということがしっかりと学べた。
- ・ ぜひ、これからも、このような実習を続けて行ってほしい、と思います。

来客者（老人ホームの利用者の皆様、職員、ボランティアスタッフの方々等）の感想

- ・ 久しぶりにおいしいコーヒーをいただいた。外へ出かけたような気分になった。どうもありがとうございました。
- ・ 生徒さんとお話しができて、楽しいひと時を過ごすことができた。また、来てください。
- ・ 利用者さんたちが、とても喜んで、生き生きとしていた。生徒さんたちのひたむきな努力が伝わったのだと思う。ぜひ、続けて行ってほしい。